

千葉大学医学部附属病院で胃腫瘍の治療、 及び消化管出血の止血をされた患者の皆様、ご家族の皆様 へ

2025年4月10日

消化器内科

消化器内科では、「当院における消化管出血止血法、局注液に関する後ろ向き研究」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2005年1月1日～2025年3月31日の間に消化管止血術、治療を施行した患者。

1. 研究課題名

「当院における消化管出血止血法、局注液に関する後ろ向き研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

消化管出血(食道、胃、十二指腸を含む小腸、大腸)の原因は潰瘍、静脈瘤、血管異型性、内視鏡治療後の後出血等多岐に渡るが臓器別、若しくは止血法別の治療成績は完全には明らかになっていません。また経過観察可能な出血の特徴も明らかではありません。さらに消化管内視鏡治療時に使用する局注液の種類による治療効果の詳細は明らかではありません。本研究ではこれらの不明点を単一臓器内及び臓器横断的に解析することで明らかにする事を目的としました。該当する研究対象者のカルテからデータ(性別、年齢、血液データ、合併症、病変、治療成績やその他の情報)を収集し検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記録されている性別、年齢、血液データ、合併症、病変、治療成績やその他の情報

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 診療講師 沖元謙一郎

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページの個人情報保護に関する部位をご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応いたしますが、学会や論文で公表後に関しては対応できないこともあります。ご不明な点がございましたら下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院

消化器内科 診療講師 沖元謙一郎

043(222)7171 内線72808